

ポジティブ・インパクト・ファイナンスのモニタリング状況

「ポジティブインパクト金融原則（The Principles for Positive Impact Finance）」では、投融資先の事業主体が実現したインパクトについて、透明性の確保と情報開示が求められています。

当行が取り組んだポジティブ・インパクト・ファイナンスで設定したKPIの実績と、KPIの進捗に応じて実施したモニタリング・対話の状況について以下の通り報告致します。なお、各案件のインパクト分析の内容等については、当行ホームページ（https://www.sbihinseibank.co.jp/institutional/sustainable_finance/pif/）の「お客さまのお取り組み実績一覧」に掲載している評価レポートをご覧下さい。

〈目次〉

| | |
|--------------------|---|
| 石原産業株式会社 | 2 |
| 株式会社アウトソーシング | 3 |
| 株式会社ゼネラル | 4 |
| 医療法人鉄蕉会 | 5 |
| WHILL 株式会社 | 6 |
| 株式会社よかタウン | 7 |
| J A三井リース株式会社 | 8 |
| 東京センチュリー株式会社 | 9 |

借入人：石原産業株式会社

評価日付：2023年2月28日

評価レポート：https://www.sbihinseibank.co.jp/institutional/sustainable_finance/pdf/ppif230228.pdf

| ポジティブ/ ネガティブ | 目標 | 実績及び進捗に係るモニタリング・対話の状況 | |
|-----------------|-------|---|---|
| | | 2022年度 | 2023年度 |
| KPI① | ポジティブ | 有機化学部門（農薬製剤等）における環境・社会配慮製品の売上の拡大 | 自社の製品・技術、外部の要求や他社の動向の調査を行い、考え方、基準、評価軸について検討している。 |
| KPI② | ポジティブ | 無機化学部門（酸化チタン製品等）における環境・社会配慮製品の売上の拡大 | 環境・社会配慮製品に適合する自社製品・技術等の基準・定義について検討。（2024年度中の策定目標） |
| KPI③ | ポジティブ | 女性管理職比率 10%以上（単体、2026年度） | 7.6% |
| KPI④ | ネガティブ | CO2 排出量（Scope1+Scope2）30%以上削減（2030年度、490千t-CO2（2019年度）対比） | 2019年度比 1.5%増 (2022年度実績：498千t-CO2) |
| KPI⑤ | ネガティブ | (1) 環境・社会に配慮し法令よりも十分に厳しい自主管理値の遵守の継続 | 達成 |
| | | (2) 産業廃棄物排出量削減率：2019年度対比 50%以上削減（2030年度） | 2019年度対比 22.1%削減 |
| KPI⑥ | ネガティブ | サプライチェーンにおいて持続可能な調達を実現する | 「ISK グループ購買基本方針」 策定・公表済 ※ガイドライン策定予定（2024年度） |

借入人：株式会社アウトソーシング

評価日付：2023年3月24日

評価レポート：https://www.sbihinseibank.co.jp/institutional/sustainable_finance/pdf/ppif230324.pdf

| KPI | インパクト | KPI 概要/目標 | 実績及び進捗に係るモニタリング・対話の状況 | |
|------|-----------------|--|-------------------------|-------------|
| | | | 2022 年度 | 2023 年度 |
| KPI① | ポジティブ/ ネガティブ | 在留外国人の就労サポート人数：2030 年度 500,000 人 | 46,586 人 | 77,867 人 |
| KPI② | ポジティブ | キャリアアップ教育等（資格取得や商品知識等の教育を含む）の教育・研修プログラムの受講人数及び想定受講人数：2030 年度 300,000 人 | 60,022 人 | 97,491 人 |
| KPI③ | ポジティブ | 生産性向上のスペシャリスト人材の人数：2030 年度 100,000 人 | 45,421 人 | 43,898 人 |
| KPI④ | ポジティブ | 女性管理職比率（アウトソーシング単体）：2030 年度 30% | 10.6% | 9.1% |
| KPI⑤ | ネガティブ | 労災認定数（アウトソーシング単体）：2022 年度の 10% 減 | 基準年であり報告対象外 (実績値非開示) | 未達成（実績値非開示） |

借入人：株式会社ゼネラル

評価日付：2023年3月31日

評価レポート：https://www.sbihinseibank.co.jp/institutional/sustainable_finance/pdf/ppif230331.pdf

| インパクト | KPI 概要/目標 | 実績及び進捗に係るモニタリング・対話の状況 | |
|-------|-----------|--|---------------------------|
| | | 2022 年度 | 2023 年度 |
| KPI① | ポジティブ | 再診数：前年度の実績値以上とする（各年度） | 達成（実績値非開示） 未達成（実績値非開示） |
| KPI② | ポジティブ | 男性従業員の育児休業取得率：10%以上（くるみん認定基準）の達成・維持（各年度） | 達成（12.5%） 達成（75.0%） |
| KPI③ | ポジティブ | 訪問歯科診療の患者数、レセプト枚数、訪問施設数：前年度の実績値以上とする（各年度） | 達成（実績値非開示） 達成（実績値非開示） |
| KPI④ | ネガティブ | Human Development Academy (HDA) における Technical Skill 分野の研修実施回数：2033年9月末までに累計 1,000 回 | 161 回 176 回 |
| KPI⑤ | ネガティブ | 個人情報漏洩件数：0 件維持（各年度） | 達成（0 件） 達成（0 件） |

借入人：医療法人鉄蕉会

評価日付：2023年6月30日

評価レポート：https://www.sbihinseibank.co.jp/institutional/sustainable_finance/pdf/ppif230630.pdf

| インパクト | KPI 概要/目標 | 実績及び進捗に係るモニタリング・対話の状況 | |
|-------|--|-----------------------|--------------|
| | | 2022 年度 | 2023 年度 |
| KPI① | ポジティブ 救急搬送の応需率 ：2022 年度の実績値以上の維持（各年度） | 報告対象外 | 達成（実績値非開示） |
| KPI② | ポジティブ/ ネガティブ 従業員（性別・職種問わず）の育児休業取得率 ：2022 年度の実績値以上の維持（各年度） | 報告対象外 | 達成（実績値非開示） |
| KPI③ | ポジティブ/ ネガティブ 従業員（職種問わず）の離職率 ：直近 5 年間の単年度実績の平均値である 13.0%以下の維持（各年） | 報告対象外 | 未達成※（実績値非開示） |
| KPI④ | ポジティブ オンライン診療の患者数 ：前年度の実績値以上とする（各年度） | 報告対象外 | 未達成※（実績値非開示） |
| KPI⑤ | ネガティブ 個人情報漏洩件数：0 件維持（各年度） | 報告対象外 | 達成（0 件） |

※目標が未達成の KPI は、借入人との対話を通じてその要因や今後の対応方針・取り組み予定等を確認しております。

借入人：WHILL 株式会社

評価日付：2023年9月29日

評価レポート：https://www.sbihinseibank.co.jp/institutional/sustainable_finance/pdf/ppif230929.pdf

| インパクト | KPI 概要/目標 | 実績及び進捗に係るモニタリング・対話の状況 | |
|-------|--|-----------------------|---|
| | | 2022 年度 | 2023 年度 |
| KPI① | ポジティブ メディア媒体の活用の継続（毎年度） | 報告対象外 | 継続。Web や紙面に加えテレビ CM の全国放映を実施し、メディア媒体を拡充 |
| KPI② | ネガティブ ISO 13485（医療機器の品質管理システム）の維持（毎年度） | 報告対象外 | 維持 |
| KPI③ | ポジティブ レンタル・リース及び自動運転サービスの導入施設数：全世界で累計 1,000 カ所（2029 年 3 月期まで） | 報告対象外 | 実績値非公開※ |
| | ポジティブ 自動運転サービスの利用者数：のべ 100 万人の利用（2029 年 3 月期まで） | 報告対象外 | 実績値非公開※ |

※借入人との対話を通じて、実績や取り組みの進捗等を確認しております。

借入人：株式会社よかタウン

評価日付：2023年10月31日

評価レポート：https://www.sbihinseibank.co.jp/institutional/sustainable_finance/pdf/ppif231031.pdf

| | インパクト | KPI 概要/目標 | 実績及び進捗に係るモニタリング・対話の状況 | |
|------|-----------------|---|-----------------------|--|
| | | | 2022 年度 | 2023 年度 |
| KPI① | ポジティブ/ ネガティブ | (1) アフターフォロー対応率（14日以内） ：100%維持（各年度） | 報告対象外 | 【達成】100% |
| | ポジティブ/ ネガティブ | (2) 住宅建設期間における抜き打ち検査数 ：抜き打ち検査数の増加（毎年度） | 報告対象外 | 【達成】検査件数：合計 60 件 (2022 年度より 5 件増加) |
| KPI② | ポジティブ | (1) 従業員の有給休暇取得率 ：2022 年度実績値の維持（各年度） | 報告対象外 | 【達成】男性従業員：68% 【未達成】女性従業員：80% |
| | ポジティブ | (2) 従業員の自己啓発研修の受講者数 ：(管理職を含む) 従業員の受講者数を 2027 年 3 月末までに合計 200 人以上とする(2026 年度) | 報告対象外 | 2023 年度：30 人 (2021～2023 年度の合計：90 人) |
| KPI③ | ネガティブ | GHG 排出量 (Scope1, 2)：2030 年度までに Scope1,2 で 33.6%削減（2022 年度比） | 報告対象外 | Scope1+2：6.09%増加（2022 年度比） |

借入人：JA三井リース株式会社

評価日付：2023年11月30日

評価レポート：https://www.sbihinseibank.co.jp/institutional/sustainable_finance/pdf/ppif231130.pdf

| インパクト | KPI 概要/目標 | 実績及び進捗に係るモニタリング・対話の状況 | | |
|-------|-------------|---|---------|---|
| | | 2022 年度 | 2023 年度 | |
| KPI① | ポジティブ | 農林水産業の個別課題を解決する、金融にとどまらないソリューション提供を通じた、生産基盤維持・強化に寄与する取組 | 報告対象外 | <ul style="list-style-type: none"> 大磯二宮漁協のスタートアップ事業／定置網漁業の官民一体支援 GHG排出量削減やエネルギーの地産地消に向けたPPA締結 |
| KPI② | ポジティブ | 地域資源の活用と、内外のネットワークを通じた適切なソリューションの提供による、豊かなまちづくりに寄与する取組 | 報告対象外 | <ul style="list-style-type: none"> 冷凍自動販売機による24時間販売の仕組みを構築 |
| KPI③ | ポジティブ | 女性管理職比率：30%（2040 年度） | 報告対象外 | 1.6% |
| KPI④ | ポジティブ | ① 再生可能エネルギー関連投融資額（単年度及び2021 年度からの累積）：累計5,000 億円（2030 年度） ② 脱炭素に寄与する機器・設備・建造物等のリース・割賦および投融資実行額（単年度） | 報告対象外 | ① 単年度：696 億円、2021 年度からの累積1,928 億円 ② 単年度：416 億円 |
| | ネガティブ | GHG 排出量：2030 年度に50% 削減（2021 年度比） | 報告対象外 | 825t（2021 年度比35.1% 削減） |
| KPI⑤ | ポジティブ/ネガティブ | リース返却物件のリサイクル率：95%以上の維持 | 報告対象外 | 99.8% |

借入人：東京センチュリー株式会社

評価日付：2023年12月29日

評価レポート：https://www.sbihinseibank.co.jp/institutional/sustainable_finance/pdf/ppif231229.pdf

| KPI | ポジティブ/ ネガティブ | KPI 概要/目標 | 実績及び進捗に係るモニタリング・対話の状況 | |
|------|-----------------|---|-----------------------|---------------------------------|
| | | | 2022 年度 | 2023 年度 |
| KPI① | ポジティブ/ ネガティブ | 女性管理職比率：30%（2030 年度） | 報告対象外 | 12.0% |
| KPI② | ポジティブ | 経済産業省が認定する「DX 認定制度」の認定取得状況 ：認定維持 | 報告対象外 | 【達成】認定維持 （「DX 注目企業 2024」に選定） |
| KPI③ | ポジティブ/ ネガティブ | GHG 排出量 (Scope1・2)：2021 年度比 50% 削減（2030 年度） | 報告対象外 | 31% 削減※ |
| | | 太陽光発電事業における年間発電量及び CO2 削減量： ・年間発電量：532,100MWh（2025 年度） | - | 560,575MWh |
| | | ・CO2 削減量：207,253t-CO2（2025 年度） | 報告対象外 | 218,344t-CO2 |
| | | EV 保有台数：10 万台以上（2030 年度） | 報告対象外 | 実績値非開示※※ |
| KPI④ | ポジティブ/ ネガティブ | 中古 PC 年間販売台数：241,000 台以上（2025 年度） | 報告対象外 | 350,813 台 |

※削減基準排出量 136.5 万 t-CO2 に対し、2023 年度排出量は 93.7 万 t-CO2

※※借入人との対話を通じて、実績や取り組みの進捗等を確認しております。

以上